**釣　行　記**

**中部の沖釣り情報**

**＜予測＞**

**＜速報＞**

（、

**若狭の マイカ 絶好調！**

　　8月2日（金）イカ釣り初挑戦の伊藤 高志さんと二人で、福井県敦賀市色浜の〝朝日丸“のマイカ乗合いに乗り込んだ。 「今日は、風も静かで、水温も18度。大雨の濁りもとれてイカの活性も上がっているから、調子良いと思うよ」という出港前の船長の言葉に、釣客全員やる気満々。 スミ鉄砲に襲われながら、夏の夜のイカ釣りを心行くまで楽しみました。

定刻18時 、釣客6人を乗せた〝朝日丸“は、最初のターゲットのアジの釣り場に向かって静かに桟橋を離れた。 30分で最初のポイントに到着。　「日暮れまでアジを狙います。ハイどうぞ」というアナウンスがあった。6本サビキバリ仕掛けに沖アミを付け、80号錘と共に本日の第1投目を投入。 直ぐにアタリがあり、23ｃｍのアジが上がってきた。　しかし、後が続かず、終了までに、28・29ｃｍの2匹のアジを追加したにとどまった。

19時過ぎマイカ釣り開始。 船長の投入合図と共に、私は、浮きスッテ2．5号5本バリ仕掛けを、80号錘と共に投入。 水深60ｍから80ｍまでサソイを掛けながら落とし込んだ。

　　　　　　　　　　　　**20時過ぎから時合到来！**

アタリがほとんどなく、静かな時間が船中を流れた。 20

時過ぎ、ゆっくりとサソイを掛けていた私のサオ先にモタレる

ようなアタリが出た。 ゆっくりと巻き上げると、イカの底へ

底へと逃げ惑う様子がサオを持つ手に伝わってきた。 水面に

顔をみせたのは30ｃｍのマイカ。 時合が来たのか、船中あ

ちらこちらでサオが曲がっている。　隣の伊藤さんも25ｃｍ

ほどのマイカを上げ「これで一安心、20杯を目指して頑張り

ます」とにっこり。 1時間ほど時合が続いた。 21時過ぎか

らは、群れが小さくなったのかアタリが途切れるようになった。

[ マイカ2杯を手に伊藤さん ]

　　　　　　　　　　　　**エサ巻きスッテに良型！**

ここでスッテ交換。 一番下のスッテを、鶏のササミ付きのエサ巻き

スッテに付け替えて投入した。　柔らかく落とし込みサソイを掛けて

いると、ドォーンという今までになかった重々しいアタリがあった。

追い乗りを狙ったが、全く反応無し。 ゆっくりと、巻き上げると

本日最長寸・胴長36ｃｍのマイカが、スッテをがっちりと抱いて

上がってきた。　本日はエサ巻きスッテの方に良型が良く乗った。

　　　　　　　　　　　**泳がせ仕掛けに大きなアタリ2回！**

　　マイカを４０杯釣り上げた所で、イカの泳がせ仕掛けに小型のマイカを付け、置き竿

にしておいた。 サオを出して30分後、大きなアタリが出た。 喰い込むのを待って

アワセたがハリ掛かりせず。仕掛けだけが上がってきた。

　　その20分後、再度大きなアタリがあったが、これも空振り。 両方とも真鯛のアタリ

　のようであったが、1本バリ仕掛けがミスチョイスだったようである。 次回は、2本バリ仕掛けを持参する予定である。

　　　　　　　　　　　　　**マイカの好釣はまだまだ続く！**

　　本日の私の釣果は、21～36ｃｍのマイカ62杯、伊藤さんは、

目標に1杯及ばず19杯、サオ頭は右大ドモのベテランさんの

91杯であった。

　　好釣が長く続いている若狭のマイカであるが、これからは型も

良くなり,更に強い引きで我々を楽しませてくれるものと思われま

す。 昼のうだるような暑さを避け、涼しく風情のある夜のマイカ

釣りに是非ともお出かけ下さい。

[ 本日の釣果 ]

 　　 < 朝日丸（敦賀色浜）　℡ 0770-26-1610 >

[ 8/12　松岡 隆春 ]

　　 **[7／6　松岡 隆春 ]**

**＜ 浜辺丸 ℡0599‐25‐2259 ＞**

**修二船長のお父さん石原 義平大船長（85才）には“鳥羽方面でのマダイの釣り方の**

**基本を教えていただきました。 両船長のますますのご活躍を祈念いたします。**

**＊私事で恐縮であるが、浜辺丸さんとは30年来の付き合いをさせていただいており、**

**（ ＣＤは、1枚1200円）**

**がする歌手になりたい。 今後共、“漁師の応援歌”を歌い続けたい」と意気込んでいる。**